

保護者の皆さま

小田原市立国府津小学校  
校長 浜口 勝己

## 保護者アンケートの結果について

早春の候、保護者の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日は、令和4年度の学校教育活動の評価にご協力をいただき、ありがとうございました。このたび、その結果について次のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

次に示した各項目の数値や多くのご意見を参考にしながら、今後の取り組みをより充実したものにしていきたいと考えております。今後とも皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

### 1. 質問内容について

学校評価（保護者アンケート）の設問は本校のグランドデザインに基づいた質問項目となっております。

学校教育目標

① 向上心を持ち ② 美しい心で ③ 強い心と体 の子

<質問内容>

1. お子さんは、学校生活を楽しく、意欲的に過ごしている。
2. お子さんは、あいさつができ、礼儀正しい行動をとることができる。
3. お子さんは、自分のよいところを知り、友達のよいところも認めることができる。
4. お子さんは、自分の健康や安全に気を付けて生活している。
5. 学校は、校舎内外の環境整備に努めている。
6. お子さんは、授業に前向きに取り組み、学習課題を解決しようと努めている。
7. お子さんは、相手の話を聞き、話し合いながら学んでいる。
8. お子さんは、学んだことを日常の生活の中で生かしている。
9. 学校は、個に応じた指導や学習・生活環境の整備を行っている。
10. お子さんは、各教科の基礎・基本の学習内容を身に付けている。
11. 学校は、地域の資源（人材、施設等）を活用した学習を行っている。
12. お子さんは、家庭で毎日勉強する習慣がついている。
13. 学校は、学校・学年・学級だより・ホームページ等で、学校の教育方針や学校の様子を伝えている。
14. 学校は、保護者や地域の人と連携・協力をしている。

(回答数：411)

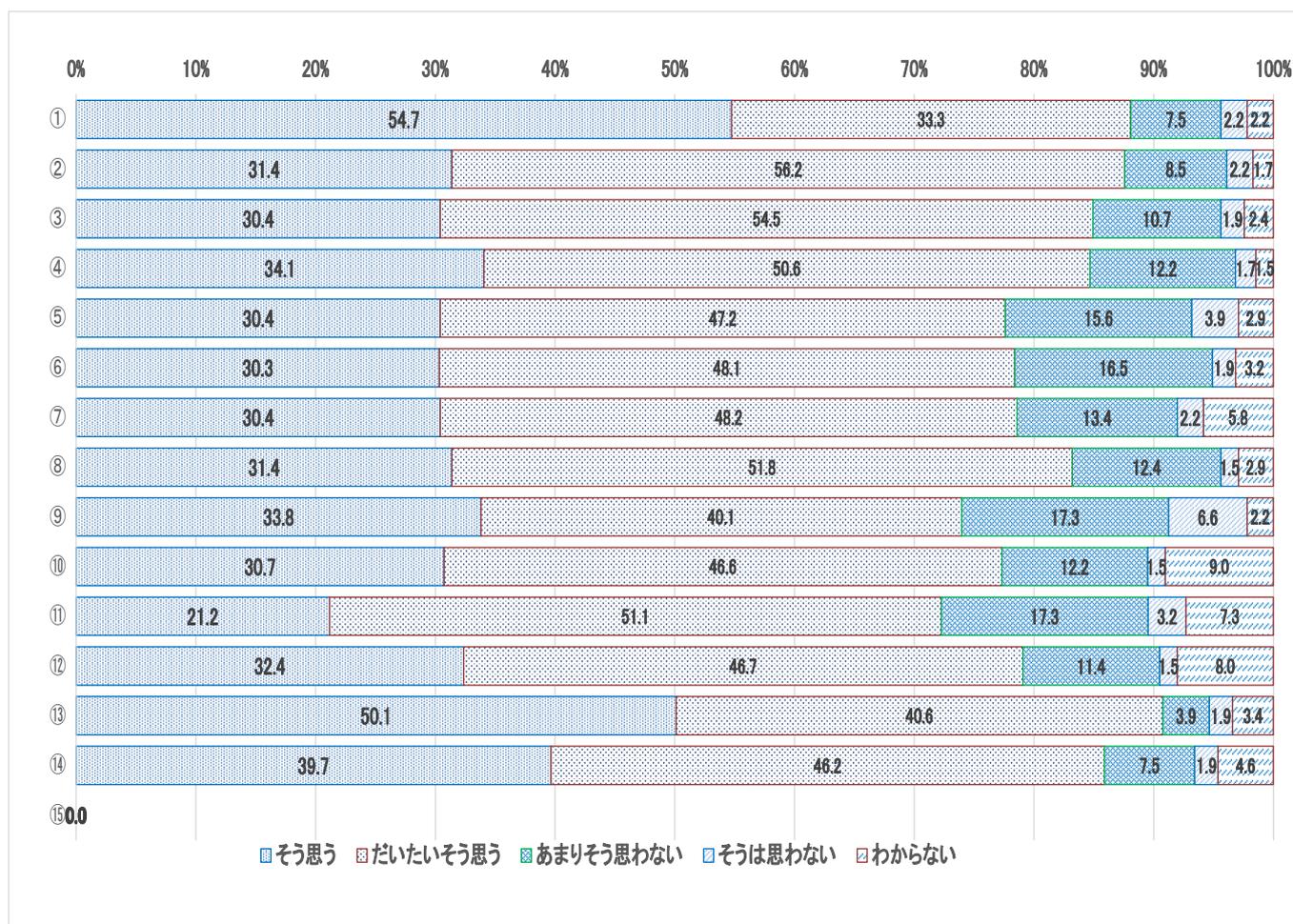
|             | ①   | ②   | ③   | ④   | ⑤   | ⑥   | ⑦   | ⑧   | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫   | ⑬   | ⑭   |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1.そう思う      | 225 | 129 | 125 | 140 | 125 | 125 | 125 | 129 | 139 | 126 | 87  | 133 | 206 | 163 |
| 2.だいたいそう思う  | 137 | 231 | 224 | 208 | 194 | 198 | 198 | 213 | 165 | 191 | 210 | 192 | 167 | 190 |
| 3.あまりそう思わない | 31  | 35  | 44  | 50  | 64  | 68  | 55  | 51  | 71  | 50  | 71  | 47  | 16  | 31  |
| 4.そう思わない    | 9   | 9   | 8   | 7   | 16  | 8   | 9   | 6   | 27  | 6   | 13  | 6   | 8   | 8   |
| 5.わからない     | 9   | 7   | 10  | 6   | 12  | 13  | 24  | 12  | 9   | 37  | 30  | 33  | 14  | 19  |

| 達成率%表示      | ①    | ②    | ③    | ④    | ⑤    | ⑥    | ⑦    | ⑧    | ⑨    | ⑩    | ⑪    | ⑫    | ⑬    | ⑭    |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1.そう思う      | 54.7 | 31.4 | 30.4 | 34.1 | 30.4 | 30.3 | 30.4 | 31.4 | 33.8 | 30.7 | 21.2 | 32.4 | 50.1 | 39.7 |
| 2.だいたいそう思う  | 33.3 | 56.2 | 54.5 | 50.6 | 47.2 | 48.1 | 48.2 | 51.8 | 40.1 | 46.6 | 51.1 | 46.7 | 40.6 | 46.2 |
| 3.あまりそう思わない | 7.5  | 8.5  | 10.7 | 12.2 | 15.6 | 16.5 | 13.4 | 12.4 | 17.3 | 12.2 | 17.3 | 11.4 | 3.9  | 7.5  |
| 4.そう思わない    | 2.2  | 2.2  | 1.9  | 1.7  | 3.9  | 1.9  | 2.2  | 1.5  | 6.6  | 1.5  | 3.2  | 1.5  | 1.9  | 1.9  |
| 5.わからない     | 2.2  | 1.7  | 2.4  | 1.5  | 2.9  | 3.2  | 5.8  | 2.9  | 2.2  | 9.0  | 7.3  | 8.0  | 3.4  | 4.6  |

※ グラフの見方

(左から：そう思う・だいたいそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)

令和4年度保護者アンケート結果



## (1) 結果について

- ・項目①学校生活を楽しく、意欲的に過ごすことができている児童は全体の88%です。
- ・項目②から④において、「そう思う」「だいたいそう思う」という肯定的な回答が80%を越え比較的充実した生活を送っている児童が多いことがうかがえます。あいさつを心がけ、礼儀正しく行動でき、互いの良さを認めたり健康や安全に気を配りながら生活をしています。
- ・⑤の項目では、学校側の努力もさることながら、児童による清掃活動の充実もあり、率先して学習環境の美化に努めようとする姿勢がうかがえます。
- ・⑥、⑦では、昨年よりも3%程減り、70%台となっています。しかし、「聞き方・話し方」や学び合いの活動を授業内で継続して取組み、今後の改善につなげていきたいと考えております。
- ・②～⑧の項目のいずれにおいても、「そう思う」よりも「だいたいそう思う」の割合が高く、全体の約半分を占めていました。しかし、「そう思う」の回答の割合も昨年度と同様、30%台となっています。
- ・⑧の内容は、今年度から、お子さん自身の授業ふり返りアンケート項目としています。こちらの内容でも80%という結果となりました。
- ・項目⑨個に応じた指導や学習・生活環境の整備については、74%でした。しかし、「そう思う」の割合が昨年度の24%から34%に上がったことは、今年度の様々な取組みの成果の一つと捉えています。さらにきめ細かな支援を意識していきたいところです。
- ・項目⑩基礎・基本の習得については、肯定的な回答が81.5%から77.3%に下がりました。低学年時からの働きかけの重要性を感じております。
- ・項目⑪学校が、地域の人材などを活用した学習をしていることへの理解は昨年度よりもだいぶ下がり、全体では肯定的な回答が83%から72%となりました。また、「そう思う」は昨年度が32%から21%に下がっており、全項目で最も低い結果となりました。実際には、コロナ禍だった昨年度よりもいっそう地域との交流を進め、校外学習や地域人材の活用もしております。このような取組みの機会を周知したり、学習の成果として発表したりすることが必要と捉えております。
- ・項目⑫家庭で毎日勉強する習慣については、昨年度とほとんど変化がありませんでした。
- ・項目⑬学校からの情報発信（学校・学年・学級だより、HP）は、肯定的な回答が90%で、全体の中でも高い結果となっています。
- ・項目⑭学校と地域との連携・協力については、肯定的な回答は86%でした。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大の中で教育活動を行ってきました。昨年度のような授業時間の制限がなくなり、落ち着いて学習に臨める環境が整ってきました。校内行事も催され、伝統ある国府津小の取組みもHPや学年だよりで紹介してきました。今年度はさらに校外での活動や交流の領域が広がり、校外学習や地域人材を活用した学習も取り入れることができました。これからはいっそう、礼儀正しい行動やあいさつの重要性を伝え、安全に配慮した行動などを身に付けさせられるよう指導を重ねてまいります。そして、地域と共にある学校の姿として積極的に発信し、学習活動の実際を理解していただくよう努力してまいります。

## (2) 考察

- ・今年度も周期的な新型コロナウイルス感染拡大状況により、十分な教育活動ができない場面もありました。しかし、学級閉鎖がなく、欠席児童にはリモートによる授業参加やタブレットの自宅での活用による自主学習を取り入れ、児童の学びを保障できるよう工夫してきました。児童のみなさんも日常的に検温や手指消毒を行い、一人一人が感染対策を意識し、学校生活や友達との時間を大切にして過ごしていました。学校環境を取り巻く様々な状況下でも、お子様が楽しく意欲的に学校生活を送っていると感じられている保護者の方が多いことについて、安心すると同時に、大変励みになっております。
- ・本校では、あいさつを励行し、お互いに気持ちよく声を掛け合える児童を育てていきたいと考えております。普段の生活では、「ありがとうございます。」という言葉が多く聞かれます。また、普段から「おはようございます。」「こんにちは。」「失礼します。」という言葉が、多くの児童から聞かれるようになっていきます。高学年の児童からは、「大丈夫ですか。」「手伝いま

しょうか。」といった言葉が聞かれる場面もあります。礼儀正しく行動するという根底には、相手を敬ったり思いやったりする心が不可欠です。本校の学校目標には、「こうづ」の「う」、「うつくしい心」を育むことが示されています。また、学級内や学年間における活動を通して、自分の良いところ、友達の良いところも認め、互いに尊重し合いながら学校生活を送っていかうとする様子が見られます。特に、6年生によるたてわり班活動や1年生への清掃指導では、最高学年としての責任感と丁寧に面倒を見る態度は、下級生にとってよき模範となっています。今後も様々な成長段階の中で、自己肯定感と他者を思いやる気持ちが育つよう、保護者の皆様と協力し合いながら取り組んでまいりたいと考えています。

- ・校舎内外の環境整備については、今年度も、雨漏りを防ぐよう原因を探り修繕工事を行いました。また、低学年図書室の畳の入れ替えや多目的ホールのカーペットの張り替えなど、児童の衛生的な学習環境の整備もしました。また、夏休みに職員作業として破損や汚れの激しい壁紙の塗装や張り替えをしました。歴史ある校舎の老朽化は否めませんが、日常的な点検をする中で不具合があった場合には速やかに対応できるようにし、児童の安心安全に努めております。また、清掃活動と消毒を行い、清潔な環境を保つようにしております。拭き掃除はモップを使用して行っており、その使い方や使用後の手洗い、消毒も徹底しているところです。今後も、清潔で安全な環境作りのために努力してまいります。
- ・授業への取組みをよくするには、理解を深める手だてやわかる喜びを持たせる工夫が不可欠です。本校では、学び合いを通して理解を深めるための授業研究を行ってます。校内研究では、「学び合いの姿」と、それによる学習の深まりについて研究を進めています。そのために必要な、「聞き方・話し方」の基本を再度、各学級・学年内で見直したいところです。研究では、テーマに迫るための指導案作成や授業参観、協議の場を通して授業力の向上を図るものです。教員の研修の場として、OJT研修会を計画的に実施しています。経験のある教員による授業の進め方や教材研究などについて教員の学び合いの場を設け、個々の授業に生かすよう努めております。今後も児童一人一人の学力が定着できるよう研鑽を重ねてまいります。
- ・「個に応じた指導」については、授業の場や状況に応じた個別支援を行っております。また、欠席者や各家庭の状況に応じた対応をしてきました。5、6年生では、複数の教員による児童理解と学習支援を目的として教科担任制による授業を行いました。合わせて、交換授業を取り入れることにより、一人の教員が学年全体を見ることとなり、一人一人の児童の情報共有がより密になっています。学力の定着とともに、個々の児童の学習環境にも適切に対応していくことは今後も望まれることとなります。授業形態の工夫と共に、日常的な児童理解と教員間の連携にも気を配りながら指導を継続してまいります。
- ・家庭学習の習慣については、特に低学年における計算や漢字、文章の読み取り（読書）などの定着が大変重要だと考えております。ご家庭で見ただけですようお願いいたします。また学校からのプリントや課題だけでなく、日常的な場面で文字を書く、読む習慣が身に付くとよいと思います。中学年においては、自主的に課題を見つけ学んでいく時期にもなりますが、なかなかその習慣が付きづらいお子さんもいるようです。各教科のノートがどのようなになっているか、記述の仕方に目を通していただけると幸いです。学校でも指導を続けてまいりたいと思います。中学年以降の学習習慣は、その後の学校生活における「学び方」の基本にもなります。時間や取り組む内容を自分で決め、机に向かう習慣を付けられるよう、学校からも声かけをしていきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。
- ・今年度も、各学年において総合的な学習や生活科などの時間を利用し、校外学習や外部講師を招いての学習をする機会を多く持つことができました。地域の方々も大変協力的で、児童にとっても有意義な時間となりました。また、修学旅行や宿泊学習は机上では学べない貴重な体験となりました。職員や学校が直接協同で何かを行う機会はなかなか持てませんが、学校は地域と共にあることを念頭に置き、保護者の方や地域の方々とも協力し合って児童の成長を支えてまいりたいと思います。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 2. 保護者の皆さまからのご意見やご質問などについて

保護者の皆さまからいただいた、ご意見やご質問などの中で、主に学校全体にかかわると考えられるものについて回答させていただきます。

なお、紙面の関係上ここで取り上げることができなかったものについては、PTA本部・運営委員会や関係機関などへお伝えします。また、今後の学校運営の中で、教育活動に生かしたり、来年度の課題として検討したりして改善してまいりたいと考えています。直接おたずねになりたい場合は、学校までご連絡くださるようお願いいたします。

### 1. ホームページや学年・学級だよりでの情報発信、配付物等について

- ・毎日HPで、学校の出来事などこまめに更新していただき参考になる。子どもの様子がHPに載ったときは「がんばっているな」と思いながらうれしくなる。
- ・HP上に校長先生のつぶやきが掲載され、学校全体の様子を知ることができありがたい。
- ・学校のHPでは、生徒たちや先生の活動を知ることができ、とてもよいことだと思う。校長先生の日々の尽力ありがたいことと感じている。
- ・久しぶりの1日授業参観で、子どもの様子を見ることでよかった。
- ・HP内の、「校長のつぶやき」がとてもよい。更新が楽しみ。校内の細かい様子や先生方のことも分かりやすく、校長先生がお忙しい中、伝えてくれてありがたい。
- ・大変かと思うが、配布されるプリントをHPで見れると助かる。
- ・下校時刻予定を早めにいただきたい。
- ・学校へ電話連絡したくてもつながる時間が短く、自らの勤務時間と重なっているため、先生と直接話すことができない。
- ・学校と学童の連携があまり取れていないように感じる。そういうものなのだなと利用して初めて知った。

学校のHPをよくご覧いただいている様子がうかがえ、大変感謝しております。学校としての発信については今後も積極的に行ってまいりたいと存じます。欠席連絡等のオンライン化につきましては、市内で「さくら連絡網」を取り入れ、本校でも10月より運用させていただいています。保護者連絡の内容も一部改訂し、できるだけ連絡が付くようにしています。ただ、今後も担任からの電話連絡等はさせていただき、お子さんの様子について保護者の皆様と情報を共有していくことは大切だと考えております。

プリントの全てをデータ配信することは難しいと考えます。インターネット環境や、内容の重要性、確実な情報提供を精選し、検討してまいります。今後も、できるだけ詳しく、速やかに学校の状況等をお知らせしてまいります。

学童保育は、一昨年度より教育総務課が外部の団体に委託しているものです。したがって、それぞれの窓口は異なります。ただし、年度初めに教育総務課、学校、運営団体による連絡会を開き、運用の仕方や施設の使用、新型コロナなどの感染症における緊急措置について検討確認をしています。また、代表者との連絡を日常的に取るようにしています。なお、基本的に、学童保育の欠席等の事前連絡は、直接学童担当者にお問い合わせします。

## 2. 学習生活指導、授業環境等について

今年度は、学習活動場面がさらに増えたため、ご意見も多くいただきました。

### (1) 自主学習・宿題

- ・人次第だと思うが、図書室をたくさん利用してくれたらと思う。Chromebookもたくさん利用したい。
- ・英語の授業を強化してほしい。
- ・宿題のようなプリントをもう少したくさんできたらいいなと思う。プリント代は、有料でもよいので。

### (2) 児童支援・指導

- ・保育園と違い、一人一人に目が行き届かなくなるか不安もあったが、本当によく見てくださり感謝している。
- ・連絡帳に子どもの様子をよく書いてくれるので、学校での様子がわかりありがたい。
- ・安全第一で生活できればよい。個別対応大変感謝している。
- ・いつもありがとうございます。学校が楽しいと言っている。
- ・担任の先生が子どもの性格をよく分かって、やる気が出るようにいつも上手に対応してくださっていると思う。姉のことでお世話になっており、忙しい中いつも感謝しています。
- ・子どもが楽しく勉強できる工夫をしていただきありがたい。宿題や〇付けに追われ大変なものでは。
- ・安全第一で生活できればと思う。リモート対応、大変感謝したい。
- ・いつもありがとうございます。子どもたちのために尽力されていると思います。学校、友達の話をよくしてくれます。
- ・学校で何かあったときに、もう少し保護者に連絡をしてほしい。知っていれば話を聞き、親なりにフォローできるので。
- ・子どもが困ったときや話を聞いてほしいときに受け止めてくれる先生がいたら、それを子どもに伝えてほしい。(校長先生や、養護の先生など) スクールカウンセラーの先生はたまにしか来ないし、ハードルが高く、担任の先生は忙しそうだったり、他の子に囲まれて話しかけるタイミングがとれない。どの先生も忙しいかと思うが、何か伝えたいことがあるときに入れられる、ポストのようなものがあれば、子どもの声を拾えるのではないかと思った。
- ・いつも楽しい学校環境を提供していただきありがたい。子どもの可能性にふたをしない、恐れのない「安心・安全な空間」であることを、生徒にとっても先生にとっても、そのような環境であることを願いたい。
- ・個に応じた対応という点で、充分過ぎるほどいろいろ対応してくださり大変感謝している。担任の先生が定期的に様子を聞いてくださり、各先生方も状況を把握してくださっていること、学校で先生や友達が声をかけてくれていることが何よりうれしい。

### (3) 校外・体験学習について

- ・町探検では、地域の人たちとの交流ができて、よい経験になった。遠足も近くでよかったので、行けたらよかったなと思った。
- ・コースごとに地域のお店を見せてもらったり(普段は見れないところまで)話を聞けたり、地域全体で子育てしているなあと、気持ちが温かくなった。
- ・宿泊学習が日帰りではなく、宿泊できてよかった。感染対策などのご配慮ありがとうございました。
- ・状況にもよるが、校外学習はやはり、成果のある学びの時間だと感じている。可能な限り、様々な社会の仕組みや自然の成り立ち等に関わりを持ってほしい。

- ・遠足など、子どもたちが楽しめるイベントは工夫してやってもらいたい。また、集合写真など、学校生活での写真は今まで入学式しかなかった。今後、そういうものはないのだろうか。
- ・校外学習が少ないと思うので、学校だけでは経験できない体験・視野を広げるためにも、もう少しあっていいと思う。

#### (4) 保健・安全指導

- ・教育活動ではないが、このところ交通事故が多いので、学校と家庭で協力し事故を防げるよう、もう一度考えられたらと思う。
- ・保健の授業をもう少し増やしてほしい。女の子は生理のこともあるので、早い段階か学んでいるとよいと思う。その他、性教育なども。家庭でも話はしているのだが、学校でも取り組んでいただけると助かる。
- ・掃除の時間のほこりが、目の前が曇ってしまうほどだったので、何かほこりを減らす工夫があれば良いのにと考えた。健康被害が出そうなほどすごいほこりが廊下などで見られ、心配である。
- ・子どもから「保健室に行っても先生が居ないことが多い」と聞いた。たまたまかも知れないが、その際は頭を打ったときだった。子どもに、不在時には他の先生に言うように伝えてあるが、子どもの口から「行っても居ない」と出るほどの頻度だったら不安に思う。

#### (5) ICT活用 ・タブレットの扱い

- ・Chromebookを毎週持ち帰ることに少し不安である。(高価で保証の有無がはっきりしていないものなので) はじめのころの、Chromebookの操作、扱いをもう少しわかりやすく連絡(説明)していただけると助かる。(最初のログインなど手間取ったため)
- ・貸し出しタブレットでYouTubeを見ているので、制限をかけるか子どもに禁止事項として伝えてほしい。
- ・ICT、Chromebookの持ち帰り課題、および取り扱いについてちゃんと指導してほしい。
- ・毎週末、学習用端末を持ち帰っているが、週明け月曜日には荷物が多すぎて、小学生には負担が大きいと感じる。(上履き、体操着、白衣、習字道具、PC、教科書)と、大変そうである。雨天時は傘もあり、危ない。

#### (6) 学校管理・環境整備

- ・緑地帯の危険箇所の点検や対応が、お手紙やHPでわかるようになっているので安心していている。
- ・夏、中庭に大量の蚊が発生するようで、中庭で活動することがあると、大量に刺されて帰ってくる。土曜参観の美化活動の時にでも対策をできたらと思う。
- ・緑地帯の遊具で少し危険だと思う箇所がある。  
(東側にある石の鉄の棒のようなものが飛び出している)
- ・中庭が整備されていない。市の財政が厳しいのであれば、地域の方の力を借りて草むしり等、定期的実施すべきではないか。昔はもっときれいに整備されていた。

1年時からのタブレットを使った学習が始まり、「読む」「書く」といった基本的なものだけでなく、様々な学習形態や学習機材を操るスキルも求められるようになってきています。そのような中でも、授業におけるノートの活用やドリルなどを使った反復学習、学校のプリントをもう一度ノートにまとめるなどの学習方法は、基礎基本を身に付ける大切なものです。各学年において、学級差が出ないよう授業進度を確認し進め方や内容について話し合っているところですが、学年全体

を見る目線に立ち、身に付けるべき力を見極めながら学習指導支援を行っていきたいと思います。

日々の教育活動に対する、多くのご理解を賜り、大変ありがたく思います。普段から、児童指導、支援について学年・学校内での情報共有に努めております。しかし、一人一人の児童を見取り、その課題に向き合うという点においてもう少し改善の余地があると考えます。授業時のみならず、言葉やしぐさも意識し、少しの変化にも気づく目と、気持ちに寄り添いながら聞く姿勢を身に付けていけるよう努力してまいります。担任以外の教員も声をかけるなどして、連携や普段からの会話を大切にし、多くの目でお子さんを見守っていくようにしたいと思います。また、学校と家庭との連携は大変重要なことであり、迅速に具体的に伝えることを念頭に置かなければなりません。今後は、こういった点に配慮し、より丁寧に対応してまいります。お気づきの点がございましたら、ぜひご相談ください。

総合的な学習の時間や生活科等の機会をいかし、今年度も感染対策を講じながら、体験活動や外部講師による講話を取り入れてまいりました。各学年ともに昨年度以上に充実したものとなりました。総合的な学習をはじめとする外部とのふれあいや体験的な学習は、社会とのつながりの中で様々なことを学ぶ貴重な機会と捉えております。このことを評価していただき大変うれしく思います。また、3、4年生ではお子さんたちの学習のまとめ発表会にご参加いただきましてありがとうございました。遠足については年間行事に位置づけ、実施していけるよう検討してまいります。写真の扱いは、現在、学級通信やHPに掲載したり、卒業アルバム用の資料として保管したりすることを中心として撮影しており、販売等については考えておりません。また、撮影掲載不可のご家庭もあり事前の確認と配慮を要するところです。今後、状況を見ながら対応してまいります。

交通安全指導につきまして、今年度は5月に視聴覚指導、7月には小田原警察署の協力を得て視聴覚指導及び実技講習を行いました。次年度は、より一層内容の充実を図り、安全的行事として計画的に実施してまいります。学級でも交通安全について継続的に指導いたしますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

学校周辺の整備につきましては、毎年遊具や体育館用具の点検があります。また、備品等の点検で不具合があった場合には修理、交換を心がけております。今年度は滑り台の撤去があり、これに伴い、ご指摘のあった建造物を撤去いたしました。中庭につきましては、校内年間反省でも検討改善すべき案件として出されました。使用学年が責任をもって用具などの整備をすることや、夏休みの職員作業も行うこと、児童の清掃場所としても、掃除の仕方や指導について検討していきます。また、PTAの美化作業については運営委員会で提案してまいります。普段の清掃を充実させ、特に換気と拭き掃除を徹底しながら環境美化に努めてまいります。

性教育については、4年生の「保健」の学習で第二次性徴を扱うことになっており、指導要領では4時間程度扱うことになっています。内容の充実を図るために養護教諭と学年で話し合い、外部講師を招聘するなど、発達段階に合った働きかけを考えていきます。

学習用端末は、小田原市が全家庭に貸し出しているものです。すでに各ご家庭から借用書をお出しいただいておりますが、故意に破損させた場合は有償修理となります。正しい使い方での自然破損は原則的に無償修理となりますが、紛失や原形をとどめない破損、電源ケーブルについては有償修理となります。学習用端末を家庭でも使用するにあたり、児童会で、使い方の決まりを作成し、各ご家庭で確認していただきました。つきましては、お子様ともう一度決まりについてご確認ください。これからは、インターネット環境の中で生活していくこととなります。そのような中で、どのようにタブレットを使用していくのか、家庭内での約束も必要だと思われれます。なお、制限をかけることによって、調べ学習などの作業ができなくなることがあります。まずは、学校から配布しているものが「学習用」として小田原市から貸し出しているものであることを再度お子様にお伝えいただければと思います。なお、持ち帰りについては、荷物や天候、必要性なども含め学年で検討し適切に対応していくようにいたします。

### 3. 学習・家庭学習について

- ・日々の宿題や持物など、基本、子どもたちが確認してくるべきことだとは思いますが、「家庭でのサポートをお願いします。」という方針であるなら、親が確認できるような情報が欲しい。HPアクセス→ログインして確認できる、さくら連絡網で送られてくるなど、各核の都合で随時確認できると便利だと思う。
- ・自主学習をすることで、自分で計画を立てて学習習慣を身に付けることを目的としているのは理解できるが、もう少し、学校から「宿題」として、ある程度課題を出してくれるとうれしい。
- ・宿題がクラスにより差があるので学年で統一してほしい。
- ・自主学習をするように言っているのは、子どもの自主性を育てるのにとってもよいことだと思うが、低学年はやはりある程度学校側からもう少し「宿題」としてプリント、ドリルを出してほしい。やる子とやらない子、理解している子、していない子の差が出てくると思う。「本読みだけ」という宿題にしないでほしい。

家庭学習において1年生は宿題のみ、2年生からは宿題＋自主学習に取り組む習慣を付けられるとよいです。時間は、学年×10分を目標とし、学年が上がるにつれて自主学習の割合が増えていくことが望ましいです。自主学習では、児童自身が復習をしたり自分なりに課題を見つけたりして取り組むよう指導しております。本校では例年4月に「家庭学習の手引き」を配付しております。低学年では、自主学習のヒントとして「おんどく」「ひらがな、かたかなの練習」「教科書を写す」「テスト直し」「計算や漢字の練習」「生き物の観察」「かけ算九九を唱える」「鉄棒やなわとびの練習」「詩を覚える、書く」「ドリルパークの問題を解く」といったものを紹介しています。多岐にわたって自主学習に取り組めると思います。また、その日の授業で学んだことをもう一度ノートにまとめたり、同じような問題をノートで解いてみたりするなどの復習をしていくのもよいと思います。家庭学習では、与えられた課題のみではなく、自ら学習内容や学習方法を考え、主体的に学習することのできる力を育てていくことも大切であると考えております。なお、宿題については配布プリントの問題数を増やすなどの工夫をし、学級間で足並みをそろえ、十分配慮してまいります。「家庭学習の手引き」の内容を再度ご確認ください。現段階では「さくら連絡網」やHPで宿題内容の明記は考えておりませんが、おたよりなどで学習内容などをお伝えできればと思います。ご不明な点は担任にお尋ねください。今後も各学年の授業内容や習熟度に合わせた自主学習の進め方など、参考になるものをお示ししていきたいと思っております。お忙しいとは存じますが、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

### 4. コロナ禍での学校生活について

- ・厚生労働省からの通達により、外での活動時、登下校時にはマスクの着用は必要ないという内容だったのに、まったく外す空気ではないようだ。少しでも早く通常の生活に戻すために、外での活動時は先生（大人）が積極的にマスクを外すべきだと考える。
- ・マスク中心の生活をやめてほしい。体調が悪いようなら休ませている。意味の無い体温チェックも見直す考えがなぜ出ないのか。文科省も求めていなかった黙食を子ども達に強いていたのは先生方である。
- ・音楽の授業で歌を歌うとき、アクリル板があるのにマスクをつけたまま歌うので、苦しいと酸欠で頭が痛くなると子どもが言っている。外せるようにしてもらいたい。
- ・いい加減黙食はやめてほしい。

コロナ禍での学校生活も3年目となり、「新しい生活様式」の中で、これまで感染対策を講じながら国府津小学校ならではの様々な取り組みをしてまいりました。保護者の皆様におかれましては、ご理解とご協力、そして温かなご意見をいただき大変感謝しております。今年度は運動会の人数制限や事前の登録などを廃止し、お子さまの様子を直にご覧いただく機会をできるだけ多く設けてまいりました。学習参観につきましては、感染リスクをできるだけ低くするため、教室内の参観人数を減らしたり、各家庭1名とさせていただきますが、3回にわたって参観の機会を設けることができました。また、3年生総合的な学習発表会では保護者の方にお子様たちの努力の成果を見ていただき、大変うれしかったです。今後も感染の状況を鑑みながら、お子様の様子を見ていただく機会を増やしてまいりたいと思います。コロナウイルス感染拡大の防止策として、マスクの着用、手洗い、消毒は大変有効です。学校は集団で活動する場ですので、一人の感染が集団感染につながるリスクは常にあります。感染による長期の学級閉鎖や学校閉鎖は児童の教育活動や成長していく過程に大きな支障をきたします。したがって、一人一人が感染の予防に努めていかななくてはなりません。給食時でも、飲食店同様、食べる時以外はマスクの着用をさせています。個人が体調管理をし、健康に生活することはもちろん、互いに感染の原因をつくらないことが大切です。しかし、野外での活動や2メートル以上の距離が取れる時や運動時などはマスクを外すことができます。特に運動時などについては、担任も率先してマスクを外し、児童全体にも促すようにしていきます。合唱については、マスクを外すことによるエアロゾル感染が懸念されていますが、声を出して歌うことに喜びを持てるよう、隊形や場の設定などを工夫してまいりたいと思います。

今後マスクの着用をはじめとしてコロナ対策が大きく変わると思われますが、状況を鑑みつつ、文科省、市、教育委員会等からの指示に従い、教育活動を行っていきます。全てのお子さまが元気に、生き生きと活動している場を、保護者の皆様と共有できる日が一日も早く来ることを願ってやみません。

## 5. その他

- ・いつも楽しい学校生活の環境を整えてもらいありがたい。先生方が、もっと民間や地域の力を借りられると、双方がよりよくなると思う。「〇〇の分野で人手が足りない」など、教育の現場からの現状をもっと発信していただいてもよいかと思う。
- ・土、日、祝日に、サッカーや野球等のクラブチームに校庭を貸しすぎだと思う。
- ・通級クラスを国府津小で行ってほしい。

地域人材の活用は、これからも力を入れていきたいところです。小田原市の取り組みや学校運営協議会などの意見も参考にしながら、より充実した教育活動が提供できるよう工夫していく必要があります。

施設の貸し出しについては毎年3月に使用登録団体連絡会を開き、新年度の行事と合わせ、年間を通した使用にあたり、ルールや年間の団体ごとの行事を確認しております。また、学校行事を最優先し対応しております。

ご多用の中、貴重なご意見や励ましの温かいお言葉をいただき、ありがとうございました。学校と地域、保護者との連携を大切に、いただいたご意見をありがたく受け止め、今後の国府津小学校のより良い学校教育に生かしていきたいと考えております。